福島市公共施設等総合管理計画
アンケート調査

結果報告書

平成 28 年 10 月

福島市

＜目　　次＞

1. 調査概要 ---------- 1

2. 調査結果 ---------- 2

２．１　回答者の属性---------- 2

２．２　公共施設の利用状況---------- 8

２．３　公共施設の老朽化に関する認知度 ----------11

２．４　公共施設の規模や配置を見直すことについて----------12

２．５　見直しを行う場合の重点的に検討すべき施設について ----------13

２．６　老朽化する公共施設について----------14

２．７　公共施設の配置や規模の見直し手法について----------15

1．調査概要

（1）調査目的

福島市ではこれまで、人口の増加や多様化する市民ニーズに対応するため、多くの公共施設を整備し、市民のみなさんに安全安心に利用いただけるよう、必要な改修等を実施してきました。

近年、公共施設の老朽化や少子高齢化の進行による人口構造の変化、また厳しい財政状況を考慮すると、すべての公共施設を維持していくことは、財政的に非常に厳しいものと予想されます。

本調査は、今後の公共施設の維持管理・運営に関する方向性検討の基礎資料とするため、公共施設の利用状況及び将来の在り方などに関する市民意見を把握することを目的に実施したものです。

（2）調査の実施概要

対象者数　　６，０００人
抽出方法　　平成 28 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳より、18 歳以上の市民を無作為抽出
調査方法　　郵送配布、郵送回収
調査期間　　平成 28 年 8 月 11 日～平成 28 年 8 月 25 日

（3）回収状況

有効回収数　　2,008 票（回収率：33.5%）

（4）報告書中の表記

・本報告書では、構成比の数値を小数点以下第 2 位で四捨五入しています。そのため、各回答の構成比の合計が 100.0%に一致しないことがあります。
・複数回答の設問については、回答者数を母数として回答比率を算出しています。そのため、回答比率の合計は 100.0%を超えることがあります。

（5）集計上の留意点

・設問では「１つ選んで」又は「２つまで選んで」と回答数を指定していますが、指定以上の番号に○を付けている場合は、間違った回答として扱い「無回答」として処理しています。

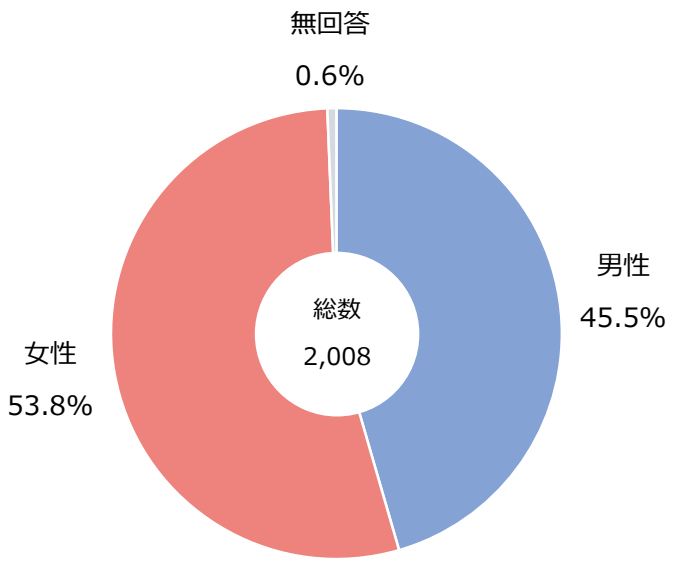
2. 調査結果

2．1　回答者の属性

【問１】　あなたの**性別**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1　男性 2　女性

● 回答者の性別は、「女性」が 53.8%、「男性」が 45.5%となっています。



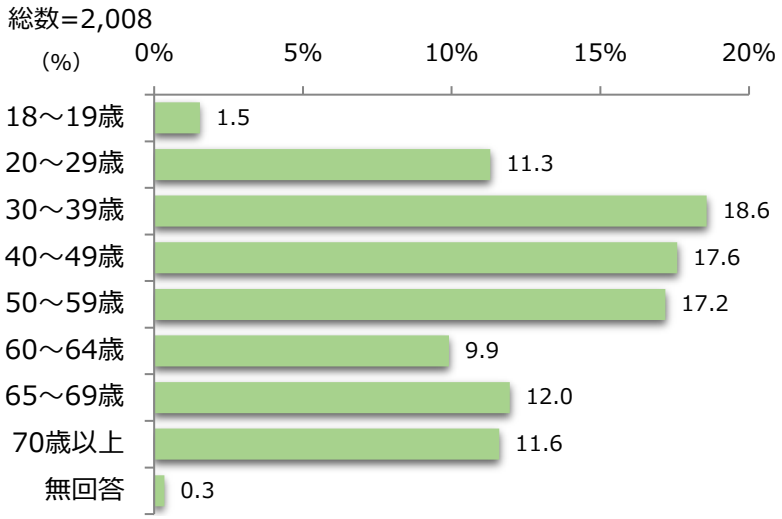
項目名	集計値	構成比（%）
全体	2,008	100.0
男性	914	45.5
女性	1,081	53.8
無回答	13	0.6

図表 2.1.1　回答者の属性

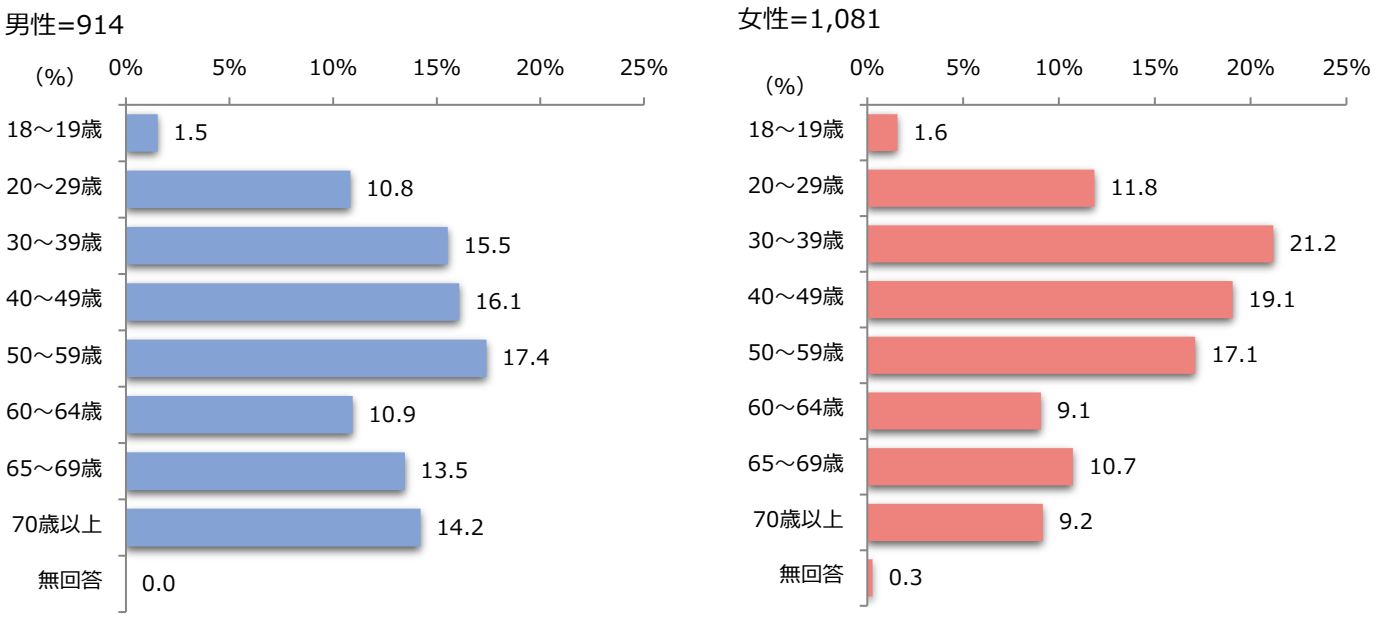
【問２】　あなたの**年齢**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1	18～19歳	5	50～59歳
2	20～29歳	6	60～64歳
3	30～39歳	7	65～69歳
4	40～49歳	8	70歳以上

- 回答者の年齢は、『30～39 歳』が 18.6%で最も多く、次いで『40～49 歳』が 17.6%、『50～59 歳』が 17.2%、『65～69 歳』が 12.0%の順となっています。
- 性別の年齢構成比をみると、男性は『50～59 歳』が 17.4%と最も高く、女性は『30～39 歳』が 21.2%と最も高くなっています。



図表 2.1.2　回答者の年齢構成

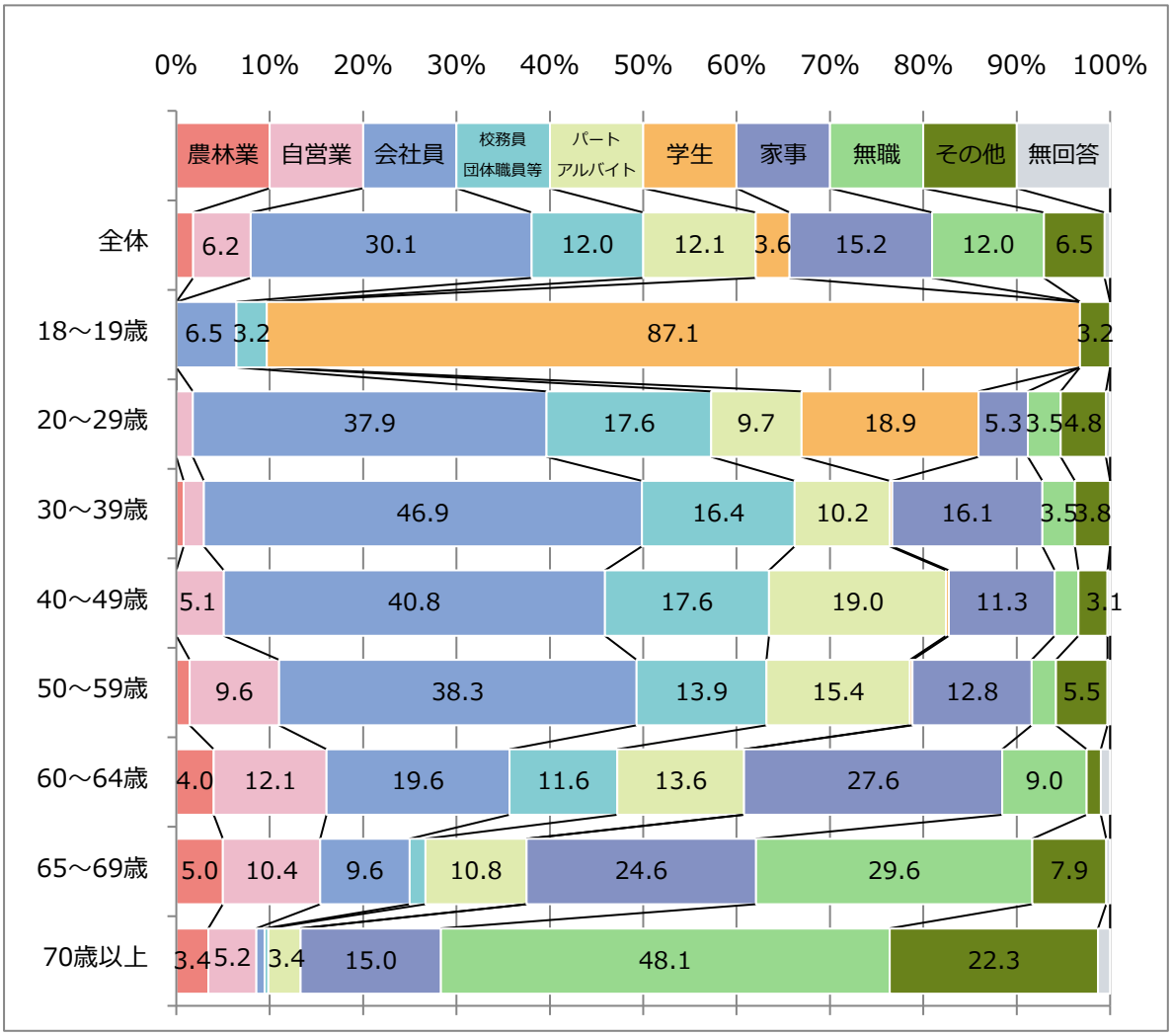


図表 2.1.3　性別の年齢構成

【問３】あなたの**ご職業**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1	農林水産業	6	学生
2	自営業	7	家事(家事・育児・介護などだけに従事)
3	会社員	8	無職(学生・家事を除く)
4	公務員、団体職員等	9	その他
5	パート、アルバイト		

- 回答者の職業は、『会社員』が 30.1%と最も多く、次いで『家事』（15.2%）、『パート・アルバイト』（12.1%）、『公務員・団体職員等』『無職』（12.0%）の順となっています。
- 年代別にみると、20～59 歳までの年齢層は『会社員』が最も多く、60～64 歳は『家事』が最も多くなっています。



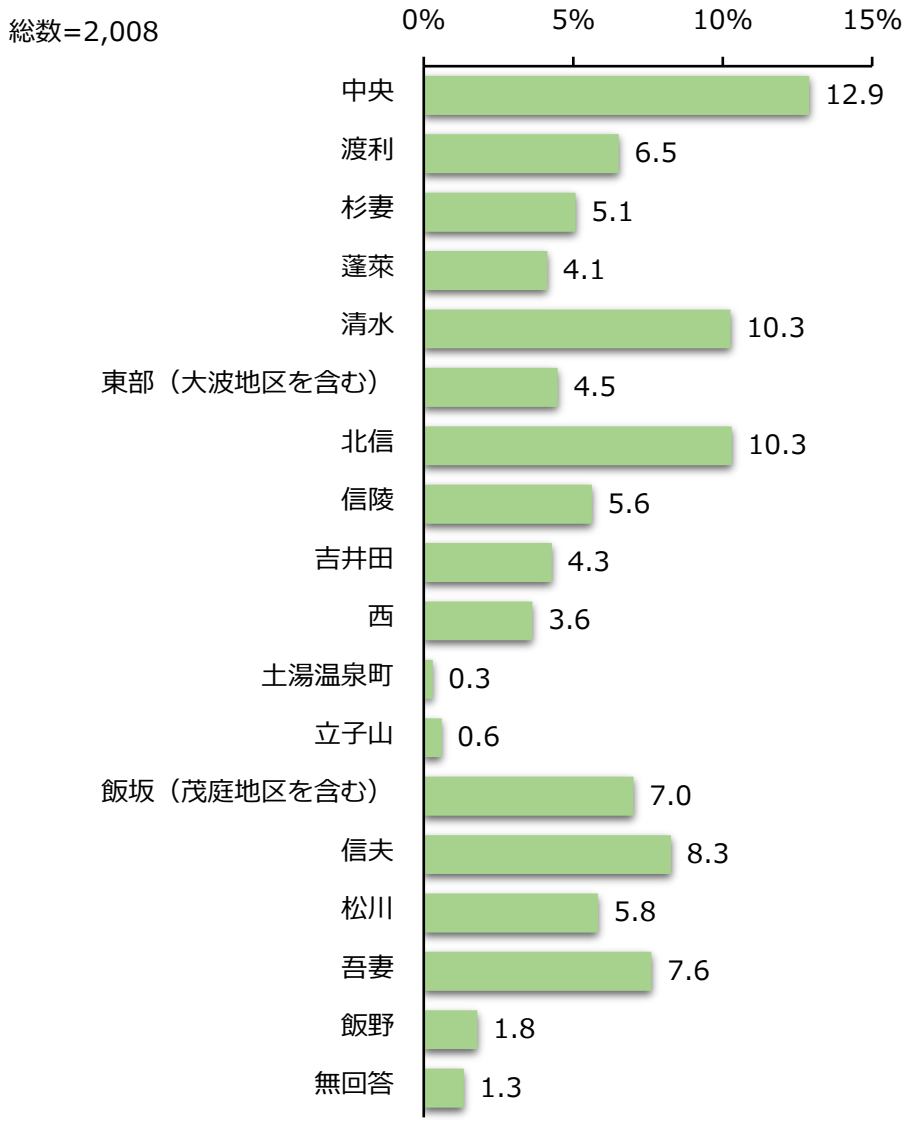
(注)　3%未満数値：全体(1.8　0.6)、18～19歳(- - - - - -)、20～29歳(- 1.8　0.4)、30～39歳(0.8　2.1　0.3 -)、40～49歳(0.3　2.5　0.3)、50～59歳(1.4　0.3　2.6　0.3)、60～64歳(1.5 - 1.0)、65～69歳(1.7 - 0.4)、70歳以上(0.9　0.4 - 1.3)

図表 2.1.4　回答者の年齢別職業構成比

【問４】　あなたの**お住まいの地区**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1	中央	6	東部（大波地区を含む）	11	土湯温泉町	16	吾妻
2	渡利	7	北信	12	立子山	17	飯野
3	杉妻	8	信陵	13	飯坂（茂庭地区を含む）		
4	蓬莱	9	吉井田	14	信夫		
5	清水	10	西	15	松川		

● 回答者の居住地区は、『中央』が 12.9%で最も多く、『清水』『北信』が 10.3%、『信夫』が 8.3%で続きます。

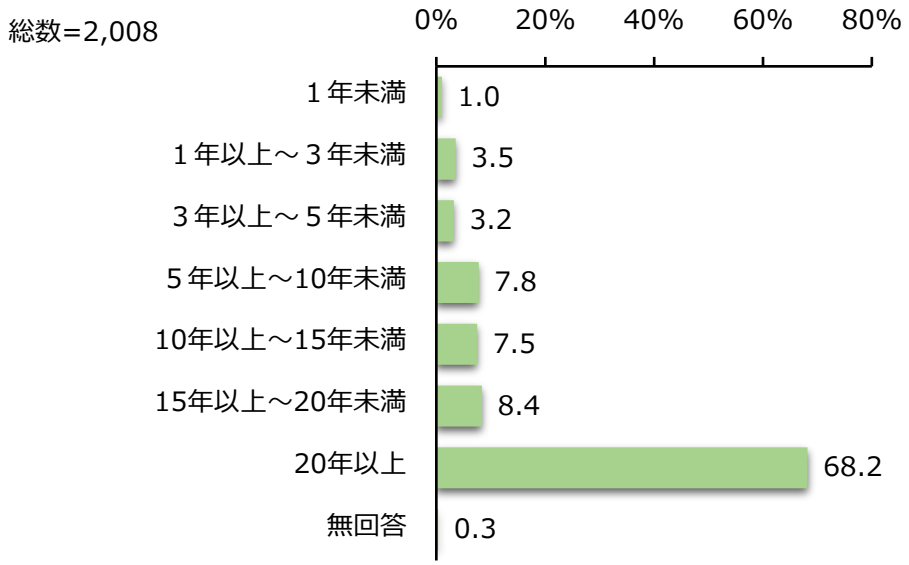


図表 2.1.5　回答者の居住地区

【問５】　あなたの福島市での**居住年数**をお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

1	１年未満	5	10年以上～15年未満
2	１年以上～３年未満	6	15年以上～20年未満
3	３年以上～５年未満	7	20年以上
4	５年以上～10年未満		

- 回答者の居住年数は、『20 年以上』が 68.2%、次いで『15 年以上～20 年未満』が 8.4%、『５年以上～10 年未満』が 7.8%、『10 年以上～15 年未満』が 7.5%と続きます。
- 地区別にみると、どの地区においても『20 年以上』が半数以上を占めています。



図表 2.1.6　回答者の居住年数

図表 2.1.7　回答者の地区別居住年数構成

		全体	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上	無回答
居住年数	全体	2008	21	71	65	156	151	168	1369	7
		100.0	1.0	3.5	3.2	7.8	7.5	8.4	68.2	0.3
	中央	259	2	15	6	22	29	30	155	0
		100.0	0.8	5.8	2.3	8.5	11.2	11.6	59.8	0.0
	渡利	131	3	3	5	10	8	11	91	0
		100.0	2.3	2.3	3.8	7.6	6.1	8.4	69.5	0.0
	杉妻	102	1	5	5	10	5	10	66	0
		100.0	1.0	4.9	4.9	9.8	4.9	9.8	64.7	0.0
	蓬莱	83	0	2	2	6	8	5	60	0
		100.0	0.0	2.4	2.4	7.2	9.6	6.0	72.3	0.0
	清水	206	1	8	8	16	19	15	139	0
		100.0	0.5	3.9	3.9	7.8	9.2	7.3	67.5	0.0
	東部（大波地区を含む）	90	2	1	3	3	2	5	74	0
		100.0	2.2	1.1	3.3	3.3	2.2	5.6	82.2	0.0
	北信	207	1	7	5	14	19	15	145	1
		100.0	0.5	3.4	2.4	6.8	9.2	7.2	70.0	0.5
	信陵	113	1	3	1	11	8	14	75	0
		100.0	0.9	2.7	0.9	9.7	7.1	12.4	66.4	0.0
	吉井田	86	3	0	4	8	7	11	53	0
		100.0	3.5	0.0	4.7	9.3	8.1	12.8	61.6	0.0
	西	73	0	3	6	6	3	4	50	1
		100.0	0.0	4.1	8.2	8.2	4.1	5.5	68.5	1.4
	土湯温泉町	6	1	0	1	0	1	0	3	0
		100.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0
	立子山	12	1	0	0	1	3	1	6	0
		100.0	8.3	0.0	0.0	8.3	25.0	8.3	50.0	0.0
	飯坂（茂庭地区を含む）	141	1	7	4	8	10	5	105	1
		100.0	0.7	5.0	2.8	5.7	7.1	3.5	74.5	0.7
	信夫	166	1	5	4	16	10	17	113	0
		100.0	0.6	3.0	2.4	9.6	6.0	10.2	68.1	0.0
	松川	117	1	4	6	11	4	9	82	0
		100.0	0.9	3.4	5.1	9.4	3.4	7.7	70.1	0.0
	吾妻	153	2	5	5	4	8	12	117	0
		100.0	1.3	3.3	3.3	2.6	5.2	7.8	76.5	0.0
	飯野	36	0	0	0	7	4	1	23	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	19.4	11.1	2.8	63.9	2.8
	無回答	27	0	3	0	3	3	3	12	3
		100.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	44.4	11.1

上段：集計値、下段：構成比（%）

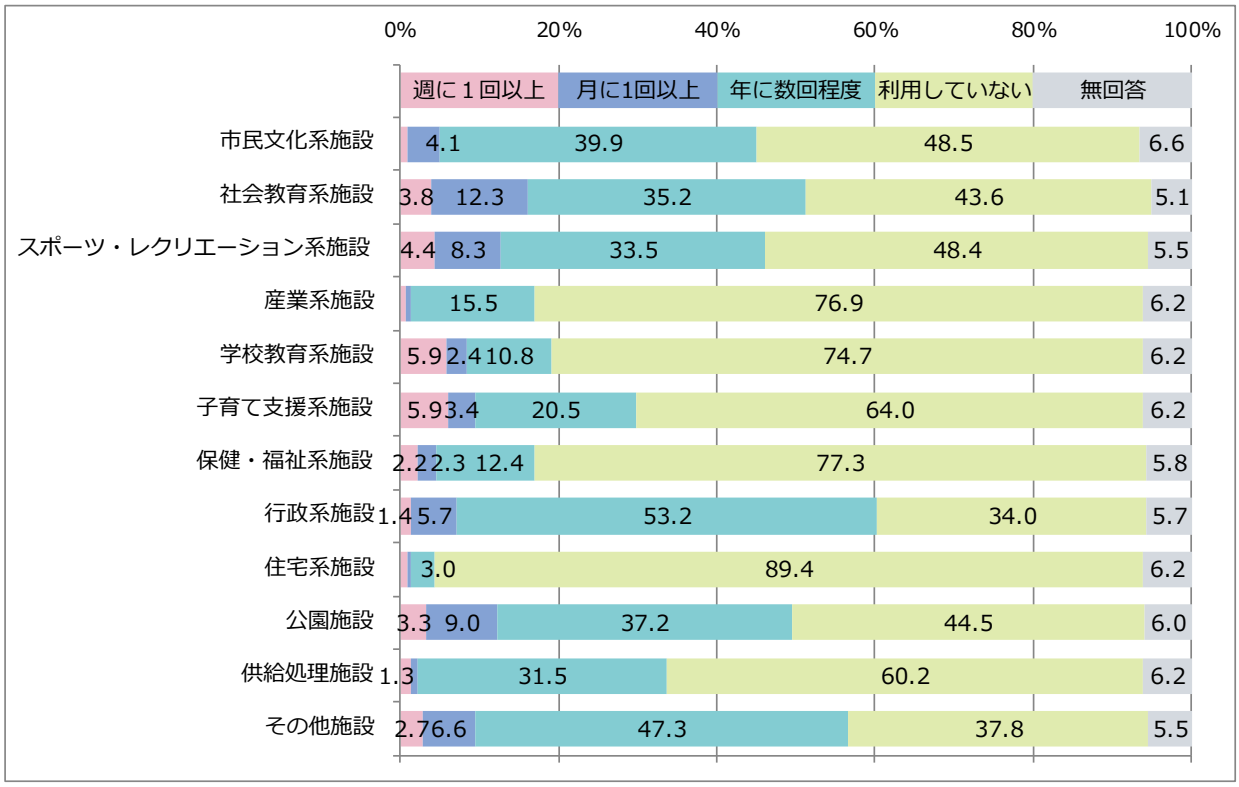
２．２　公共施設の利用状況

【問６】　あなたは、**過去１年間**に、**福島市が所有する公共施設**をどのくらい利用しましたか。**施設分類ごと**に**「1　利用頻度」**から**１つ選んで**、番号に○をつけてください。

1で**「利用していない」**を選択した場合は、**その理由**を**「2　利用していない理由」**から**選んで**、番号に○をつけてください。

施設分類 （福島市の主な公共施設の例）	1　利用頻度（○は１つ） 週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	利用していない	「利用していない」場合のみ　2を回答	2　利用していない理由（○はいくつでも） 利用する機会がない	利用時間があわない	施設があることを知らない	施設は分かるがサービス内容を知らない	利用料金が高い	場所が不便である（駐車場が少ない・公共交通機関から遠い）	県及び近隣市の類似施設を利用している	民間の類似施設を利用している
記入例）　①～⑬の全てに回答します	1	2	3	④		①	2	③	4	5	6	7	8
①市民文化系施設（集会施設等、市民会館、福島テルサ、公会堂、音楽堂など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
②社会教育系施設（図書館、民家園、じょーもぴあ宮畑、学習センターなど）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
③スポーツ・レクリエーション系施設（体育館、武道館、運動場、野球場、市民プール、家族旅行村、キャンプ場、自然の家、公衆浴場など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
④産業系施設（卸売市場、ふくしまスカイパークなど）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑤学校教育系施設（小学校・中学校(体育館、プールを含む)、給食センター、特別支援学校など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑥子育て支援系施設（保育所、幼稚園、児童センター、こむこむ館など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑦保健・福祉系施設（老人福祉センター、デイサービスセンター、身体障がい者福祉センター、こども発達支援センター、保健福祉センターなど）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑧行政系施設（庁舎、支所、出張所、消防署、消防分団、屯所、男女共同参画センター、青少年センターなど）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑨住宅系施設（市営住宅、市営住宅集会所）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑩公園施設（管理棟、東屋、便所など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑪供給処理施設（クリーンセンター、最終処分場など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8
⑫その他施設（斎場、霊園、自転車駐輪場、駅前広場施設、公衆便所など）	1	2	3	4		1	2	3	4	5	6	7	8

● 施設分類別の利用状況をみると、『年に数回程度』が「行政系施設」で 53.2%、「その他施設」で 47.3%である他は、『利用していない』の占める割合が最も高くなっています。



注：1%未満数値：市民文化施設(0.9)、産業系施設(0.7,0.6)、住宅系施設(0.9,0.4)、供給処理施設(0.8)

図表 2.2.1　公共施設の利用頻度

図表 2.2.2　公共施設別利用頻度構成

	全体	週に１回以上	月に１回以上	年に数回程度	利用していない	無回答
市民文化系施設	2,008	19	82	801	974	132
	100.0	0.9	4.1	39.9	48.5	6.6
社会教育系施設	2,008	77	246	706	876	103
	100.0	3.8	12.3	35.2	43.6	5.1
スポーツ・レクリエーション系施設	2,008	88	166	673	971	110
	100.0	4.4	8.3	33.5	48.4	5.5
産業系施設	2,008	15	13	311	1,544	125
	100.0	0.7	0.6	15.5	76.9	6.2
学校教育系施設	2,008	118	49	216	1,500	125
	100.0	5.9	2.4	10.8	74.7	6.2
子育て支援系施設	2,008	119	69	411	1,285	124
	100.0	5.9	3.4	20.5	64.0	6.2
保健・福祉系施設	2,008	44	47	248	1,553	116
	100.0	2.2	2.3	12.4	77.3	5.8
行政系施設	2,008	28	114	1,069	682	115
	100.0	1.4	5.7	53.2	34.0	5.7
住宅系施設	2,008	19	8	61	1,795	125
	100.0	0.9	0.4	3.0	89.4	6.2
公園施設	2,008	66	180	747	894	121
	100.0	3.3	9.0	37.2	44.5	6.0
供給処理施設	2,008	27	16	633	1,208	124
	100.0	1.3	0.8	31.5	60.2	6.2
その他施設	2,008	55	133	950	759	111
	100.0	2.7	6.6	47.3	37.8	5.5

上段：集計値、下段：構成比（%）

● 施設分類別に利用していない理由をみると、すべての施設分類で『利用する機会がない』が９０％台を占めています

図表 2.2.3　公共施設別利用していない理由構成

	全体	利用する機会がない	利用時間があわない	施設があることを知らない	施設は分かるがサービス内容を知らない	利用料金が高い	場所が不便である（駐車場が少ない・公共交通機関から遠い）	県及び近隣市の類似施設を利用している	民間の類似施設を利用している	無回答
市民文化系施設	974	902	35	18	87	12	60	8	12	16
	100.0	92.6	3.6	1.8	8.9	1.2	6.2	0.8	1.2	1.6
社会教育系施設	876	788	52	27	61	2	36	10	4	20
	100.0	90.0	5.9	3.1	7.0	0.2	4.1	1.1	0.5	2.3
スポーツ・レクリエーション系施設	971	866	39	32	57	7	50	9	36	22
	100.0	89.2	4.0	3.3	5.9	0.7	5.1	0.9	3.7	2.3
産業系施設	1,544	1,379	46	61	159	5	66	4	14	33
	100.0	89.3	3.0	4.0	10.3	0.3	4.3	0.3	0.9	2.1
学校教育系施設	1,500	1,423	20	10	53	-	9	2	3	44
	100.0	94.9	1.3	0.7	3.5	-	0.6	0.1	0.2	2.9
子育て支援系施設	1,285	1,222	18	10	33	-	13	-	3	35
	100.0	95.1	1.4	0.8	2.6	-	1.0	-	0.2	2.7
保健・福祉系施設	1,553	1,479	24	21	54	-	12	-	6	33
	100.0	95.2	1.5	1.4	3.5	-	0.8	-	0.4	2.1
行政系施設	682	646	10	10	33	-	5	1	-	16
	100.0	94.7	1.5	1.5	4.8	-	0.7	0.1	-	2.3
住宅系施設	1,795	1,697	17	27	41	2	6	5	11	66
	100.0	94.5	0.9	1.5	2.3	0.1	0.3	0.3	0.6	3.7
公園施設	894	833	14	15	13	-	9	5	8	35
	100.0	93.2	1.6	1.7	1.5	-	1.0	0.6	0.9	3.9
供給処理施設	1,208	1,114	22	16	39	-	13	1	1	52
	100.0	92.2	1.8	1.3	3.2	-	1.1	0.1	0.1	4.3
その他施設	759	709	9	10	13	-	8	1	11	33
	100.0	93.4	1.2	1.3	1.7	-	1.1	0.1	1.4	4.3

上段：集計値、下段：：構成比

複数回答の為、各回答の構成比の合計値は100%とならない。

「利用する機会がない・その他」を除く１番多い回答

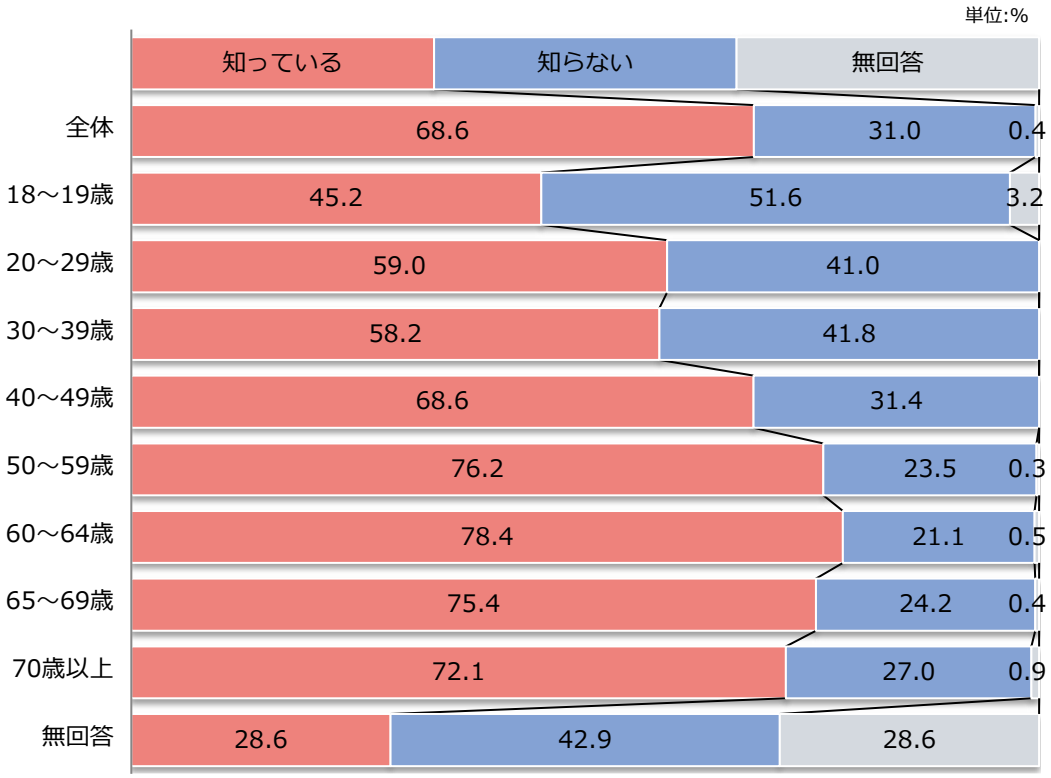
「利用する機会がない・その他」を除く２番目に多い回答

２．３　公共施設の老朽化に関する認知度

【問７】　2ページに記載のように、公共施設を維持管理する上で、**施設の老朽化など全国的な社会問題**となっていることを知っていますか。**１つ選んで**、番号に○をつけてください。

1　知っている
2　知らない

- 公共施設の老朽化が全国的な社会問題になっていることについて、『知っている』が 68.6%と約７割の方が認識しています。
- 年代別にみると、10 代を除きいずれの年代でも『知っている』が半数以上を占め、特に 50 代以上では 70%以上の方が『知っている』と回答しています。



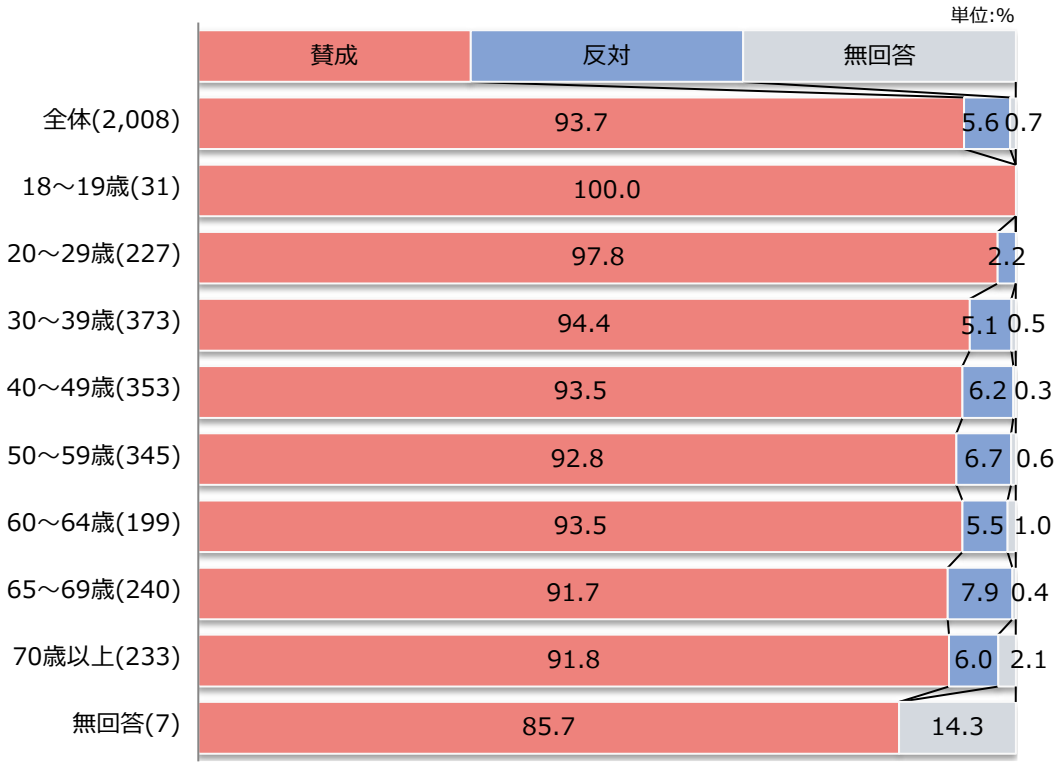
図表 2.3.1　公共施設の老朽化に関する認知度（年齢別）

２．４　公共施設の規模や配置を見直すことについて

【問８】　人口減少に伴い財源も不足し、福島市も所有する施設を現在と同じく維持することは困難となることが想定されます。**公共施設の規模や配置などを見直す**ことについて賛成ですか。反対ですか。**１つ選んで**、番号に○をつけてください。

1　賛成
2　反対

- 公共施設の規模や配置を見直すことについて、『賛成』が 93.7%、『反対』が 5.6%となっています。
- 年代別にみると、どの年代においても『賛成』の占める割合は高く、年齢が若いほど『賛成』の占める割合が高くなる傾向が見られます。



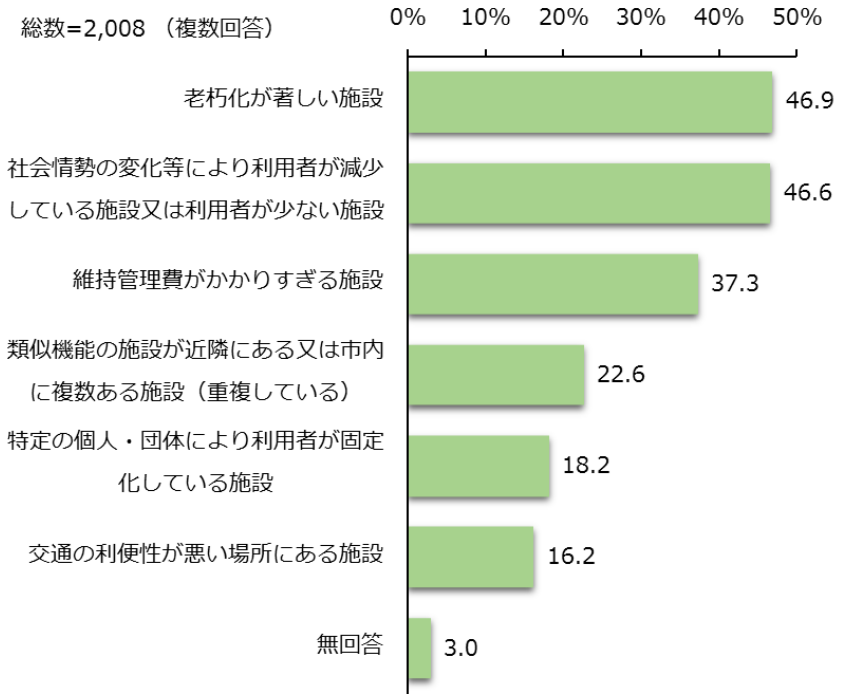
図表 2.4.1　公共施設の規模や配置を見直すことについて（年齢別）

２．５　見直しを行う場合の重点的に検討すべき施設について

【問９】　**見直しをする場合**は、どのような状況の施設から**重点的に検討**すべきと考えますか。
あなたの考えに近いものを**２つまで選んで、番号に**○をつけてください。
問８で「反対」に○をつけた方もご回答ください。

1	社会情勢の変化等により利用者が減少している施設又は利用者が少ない施設
2	特定の個人・団体により利用者が固定化している施設
3	類似機能の施設が近隣にある又は市内に複数ある施設（重複している）
4	老朽化が著しい施設
5	維持管理費がかかりすぎる施設
6	交通の利便性が悪い場所にある施設

- 『老朽化が著しい施設』が 46.9%、『社会情勢の変化等により利用者が減少している施設又は利用者が少ない施設』が 46.6%と高く、次いで『維持管理費がかかりすぎる施設』が 37.3%、『類似機能の施設が近隣にある又は市内に複数ある施設（重複している）』が 22.6%と続きます。



図表 2.5.1　重点的に見直す必要のある公共施設

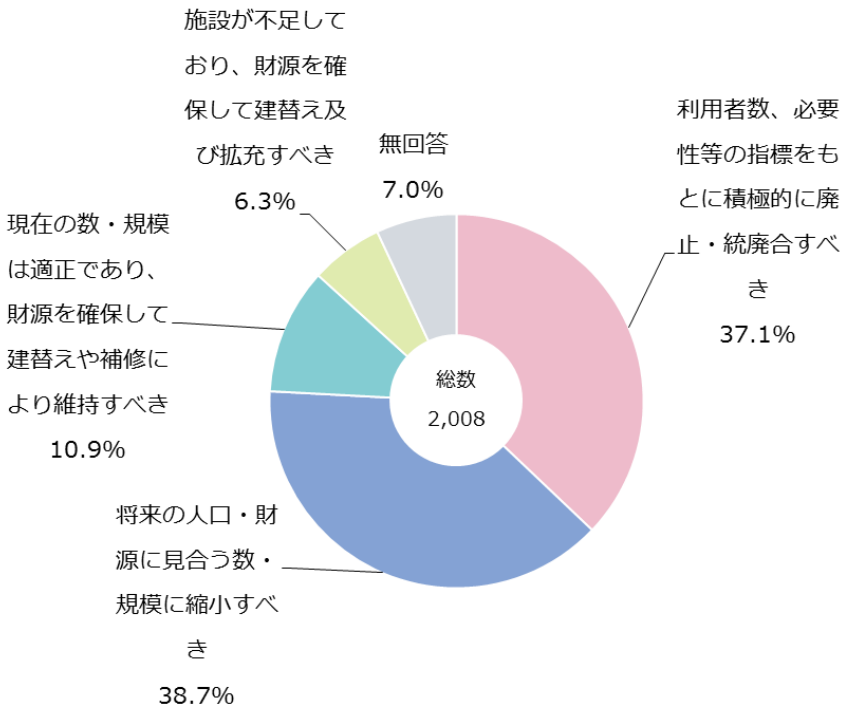
２．６　老朽化する公共施設について

【問１０】　老朽化する公共施設をどうすべきと思いますか。あなたの考えに最も近いものを**１つ選んで**、番号に○をつけてください。

問８で「反対」に○をつけた方もご回答ください。

1	利用者数、必要性等の指標をもとに積極的に廃止・統廃合すべき。
2	将来の人口・財源に見合う数・規模に縮小すべき
3	現在の数・規模は適正であり、財源を確保して建替えや補修により維持すべき
4	施設が不足しており、財源を確保して建替え及び拡充すべき。

● 老朽化する公共施設については、『将来の人口・財源に見合う数・規模に縮小すべき』が38.7%、次いで『利用者数、必要性等の指標をもとに積極的に廃止・統廃合すべき』が 37.1%とこの２つの意見が拮抗しており、両者で全体の 75.8%を占めています。



図表 2.6.1　老朽化する公共施設への対応

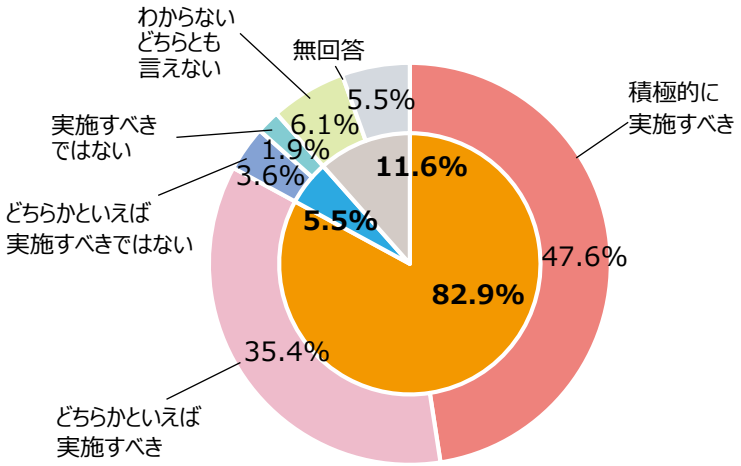
２．７　公共施設の配置や規模の見直し手法について

【問１１】　公共施設の配置や規模を見直しする場合、どのような手法が望ましいと思いますか。
①～⑥の**質問ごとに**あなたの考えに最も近いものを**１つ選んで**、番号に○をつけてください。
問８で「反対」に○をつけた方もご回答ください。

質　　問	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない どちらとも言えない
記入例）　①～⑥の全てに回答します	①	2	3	4	5
①　重複する機能を整理しながら統廃合や複合化する。	1	2	3	4	5
②　計画的に修繕し、できるだけ長期間使用する。（長寿命化）	1	2	3	4	5
③　利用料金を見直す。（利用者に負担を求める）	1	2	3	4	5
④　利用頻度が低い土地・建物は廃止・売却する。（機能は残らない）	1	2	3	4	5
⑤　民間に施設を譲渡することで機能を残す。	1	2	3	4	5
⑥　民間の施設を借りる。	1	2	3	4	5

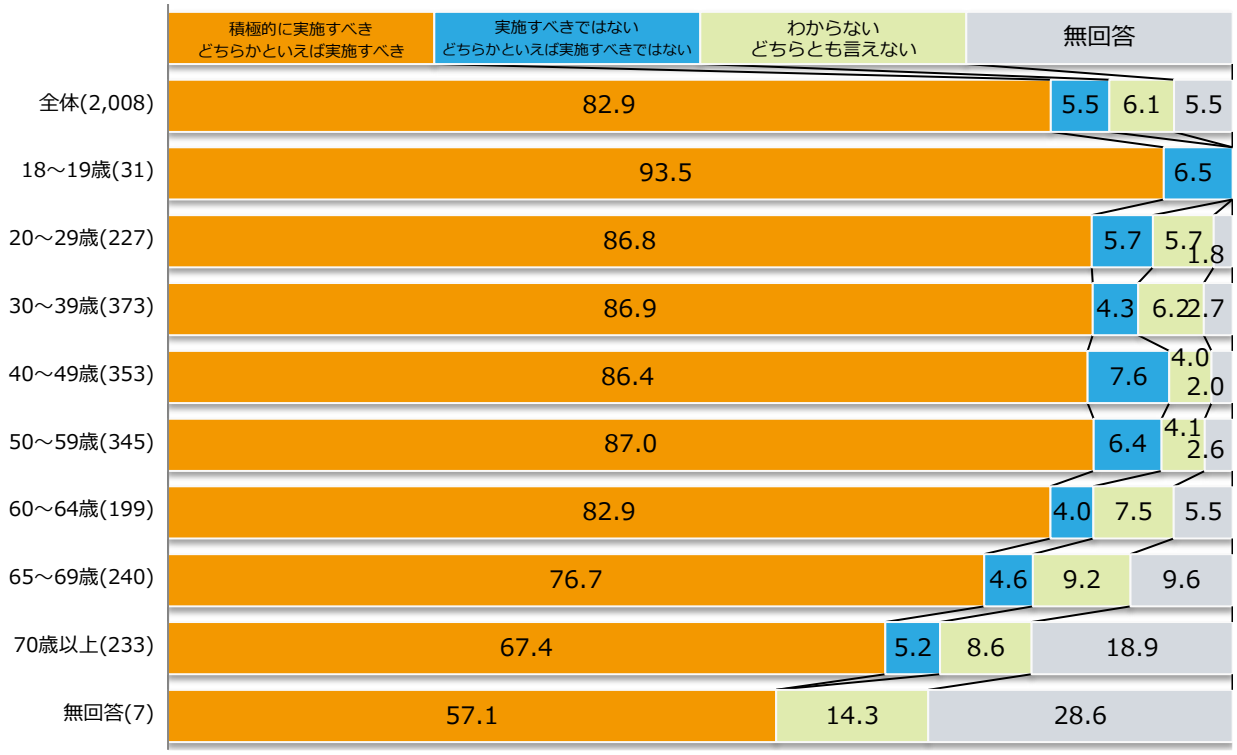
①重複する機能を整理しながら統廃合や複合化する。

- 「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 82.9%を占めています。一方で「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計は 5.5%に留まっています。また、「わからない、どちらとも言えない」が 6.1%となっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が半数以上を占めています。また、65 歳以上では「わからない、どちらとも言えない」「無回答」の占める割合が高くなっています。



図表 2.7.1　「重複する機能を整理しながら統廃合や複合化する」に対する意見構成比

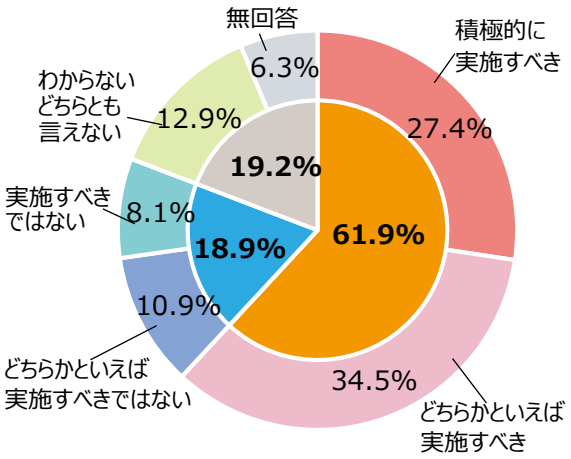
単位：%



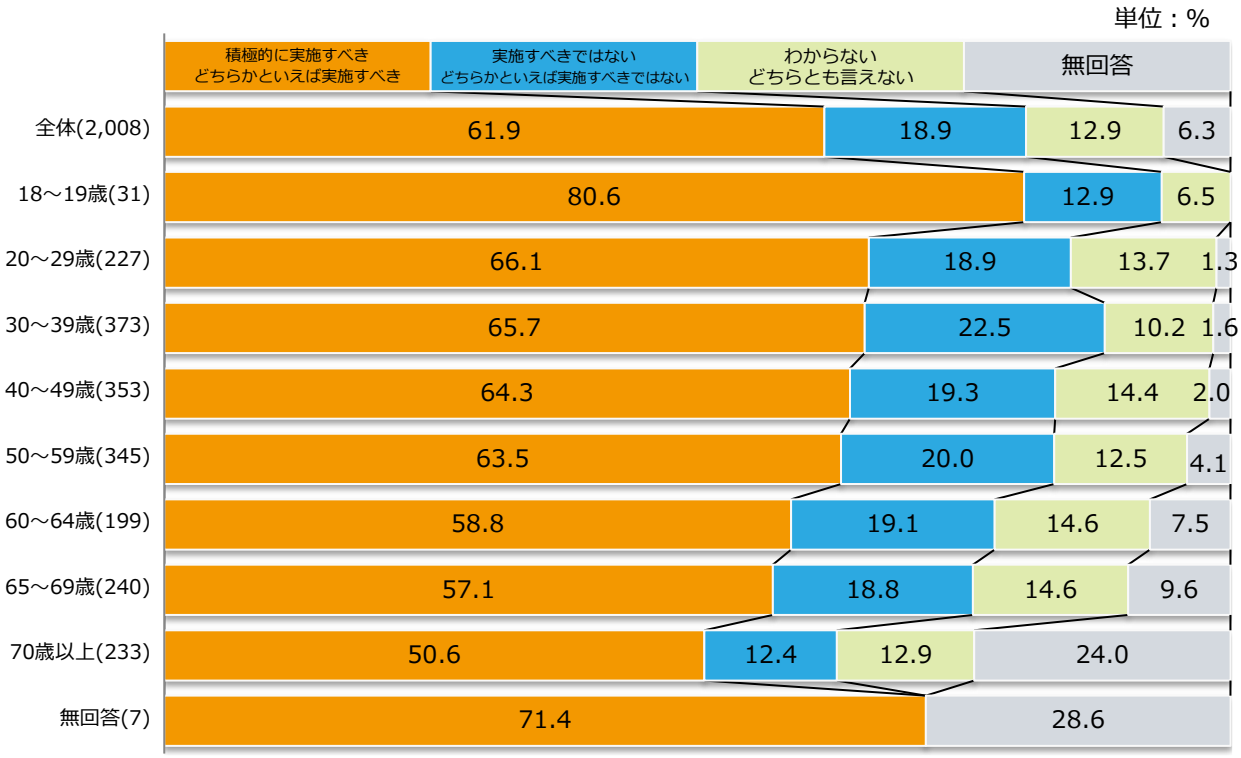
図表 2.7.2　「重複する機能を整理しながら統廃合や複合化する」に対する意見構成比（年代別）

②計画的に修繕し、できるだけ長期間使用する。

- 「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 61.9%を占めています。一方で、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計は 18.9%、「わからない、どちらとも言えない」は 12.9%となっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が半数以上を占めています。



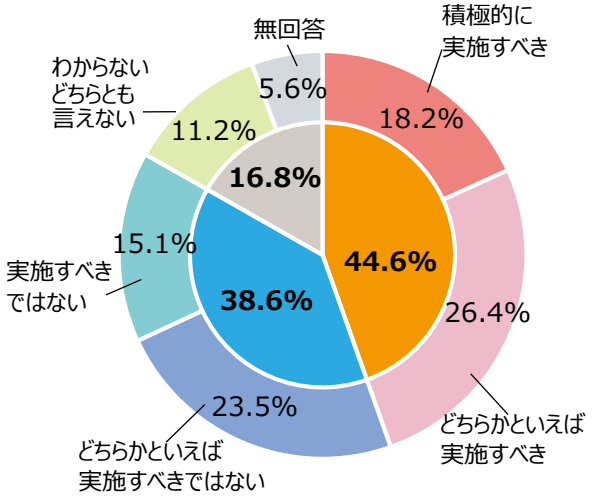
図表 2.7.3　「計画的に修繕し、できるだけ長期間使用する。」に対する意見構成比



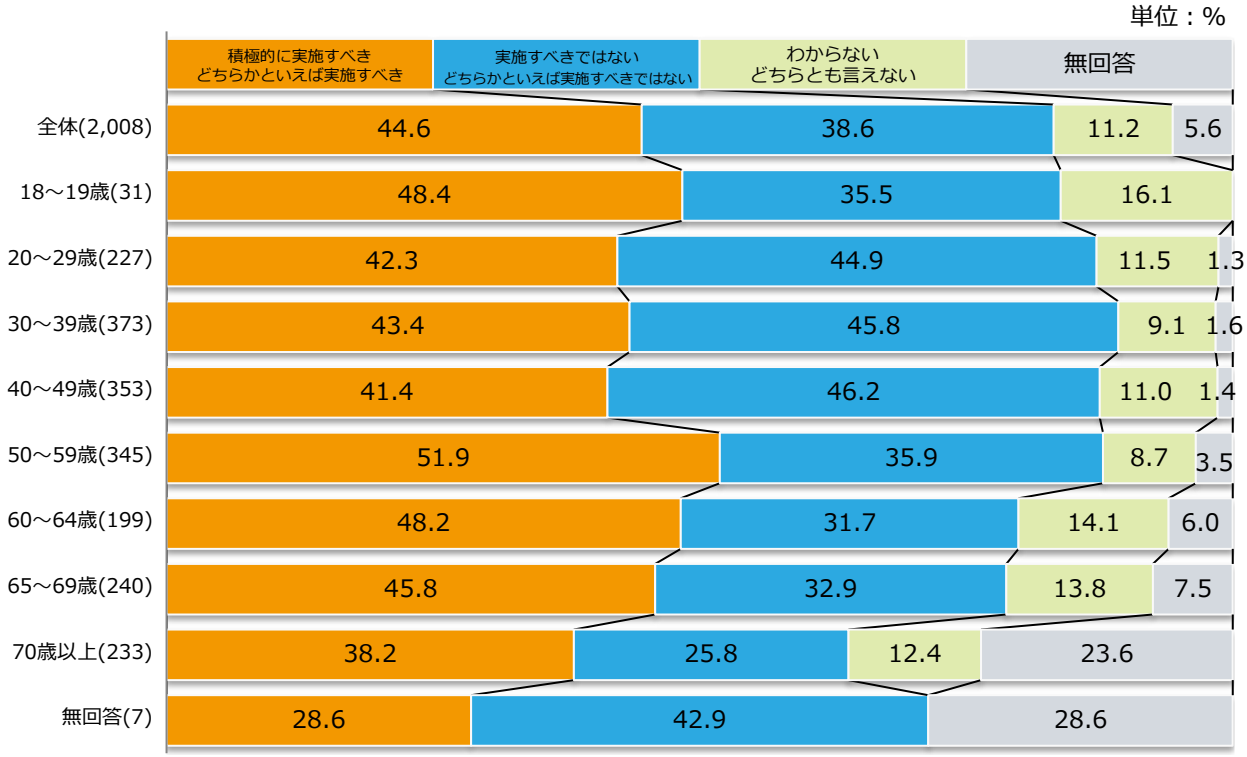
図表 2.7.4　「計画的に修繕し、できるだけ長期間使用する」に対する意見構成比（年代別）

③利用料金を見直す。（利用者に負担を求める）

- 「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 44.6%を占めていますが、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計も 38.6%を占めています。
- 年代別にみると、10 代と 50 代以上では「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が高く、20～40 代では「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計が高くなっています。



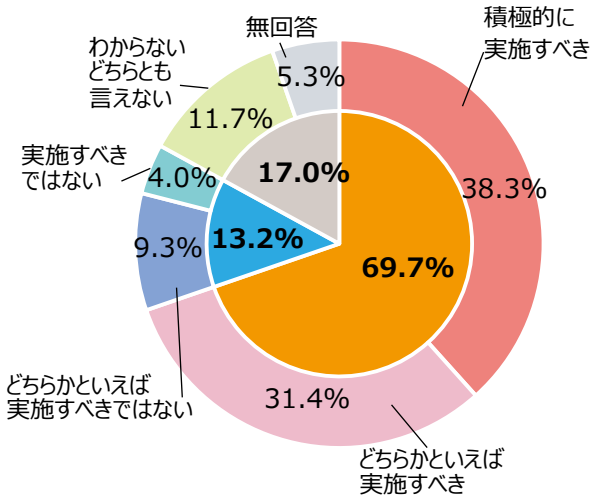
図表 2.7.5　「料金を見直す。」に対する意見構成比



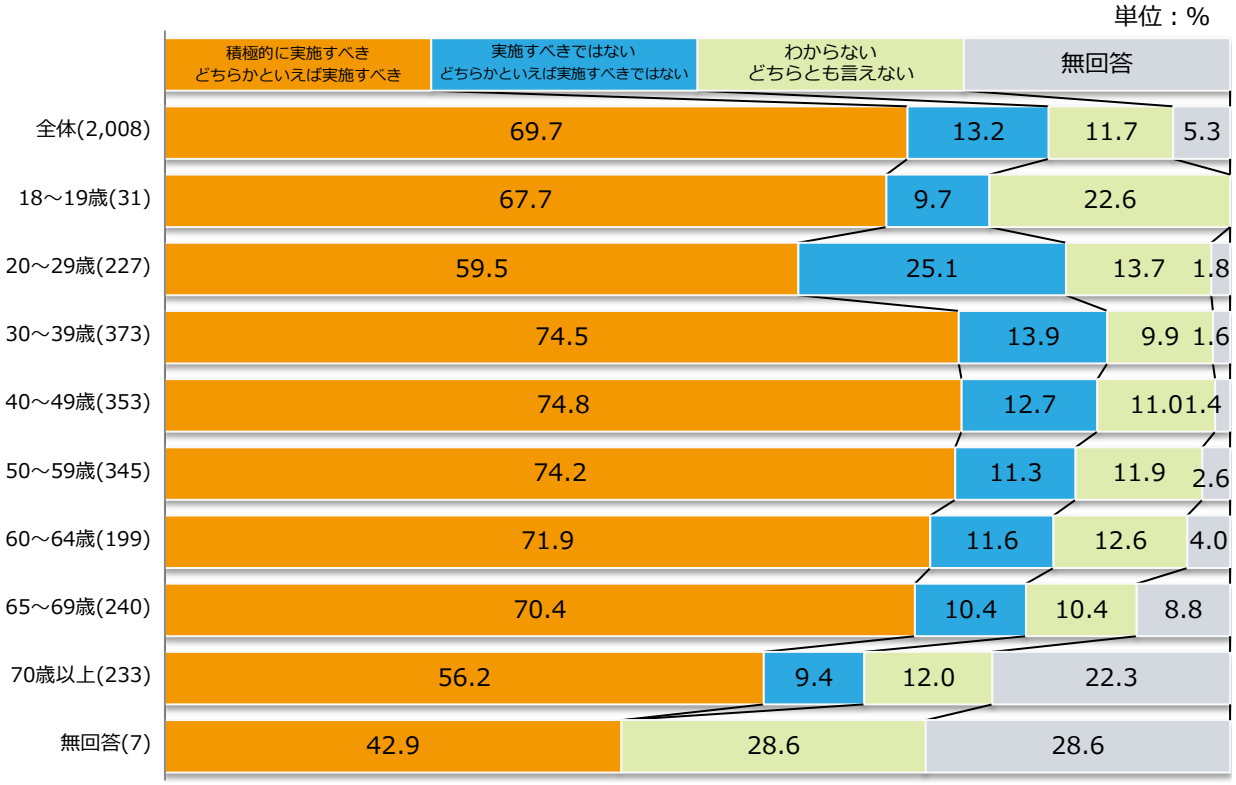
図表 2.7.6　「料金を見直す。」に対する意見構成比（年代別）

④利用頻度が低い土地・建物は廃止・売却する。（機能は残らない）

- 「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 69.7%と約 7 割を占めています。一方、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計は 13.2%、「わからない、どちらとも言えない」は 11.7%となっています。
- 年代別にみると、すべての年代で「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計を超えていますが、20 代では「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計の占める割合が他の年代に比べて高くなっています。また、10 代で「わからない、どちらとも言えない」の占める割合が他の年代に比べ高くなっています。



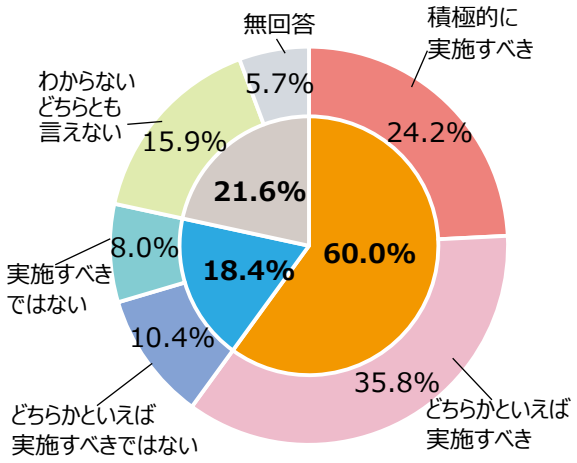
図表 2.7.7　「利用頻度が低い土地・建物は廃止・売却する。」に対する意見構成比



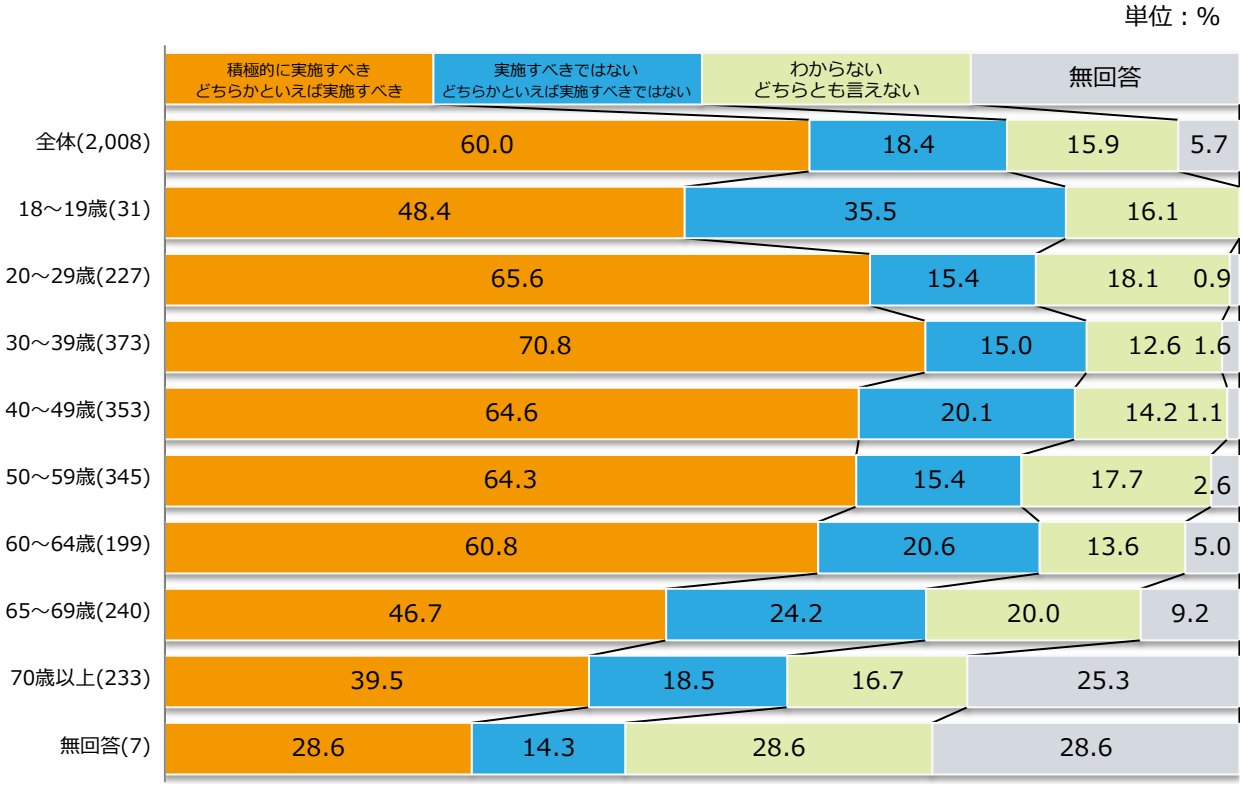
図表 2.7.8　「利用頻度が低い土地・建物は廃止・売却する。」に対する意見構成比（年代別）

⑤民間に施設を譲渡することで機能を残す。

- 「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 60.0%と半数以上を占めています。一方、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計は 18.4%、「わからない、どちらとも言えない」が 15.9%となっています。
- 年代別にみると、どの年代でも「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計を上回っていますが、10 代と 65～69 歳では「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計の占める割合が他の年代に比べて高くなっています。



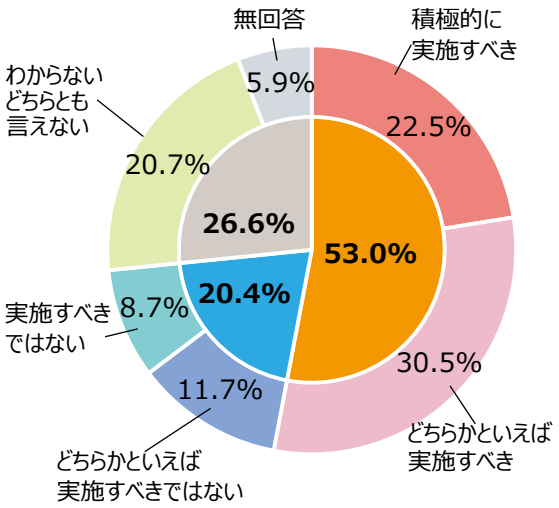
図表 2.7.9　「民間に施設を譲渡することで機能を残す。」に対する意見構成比



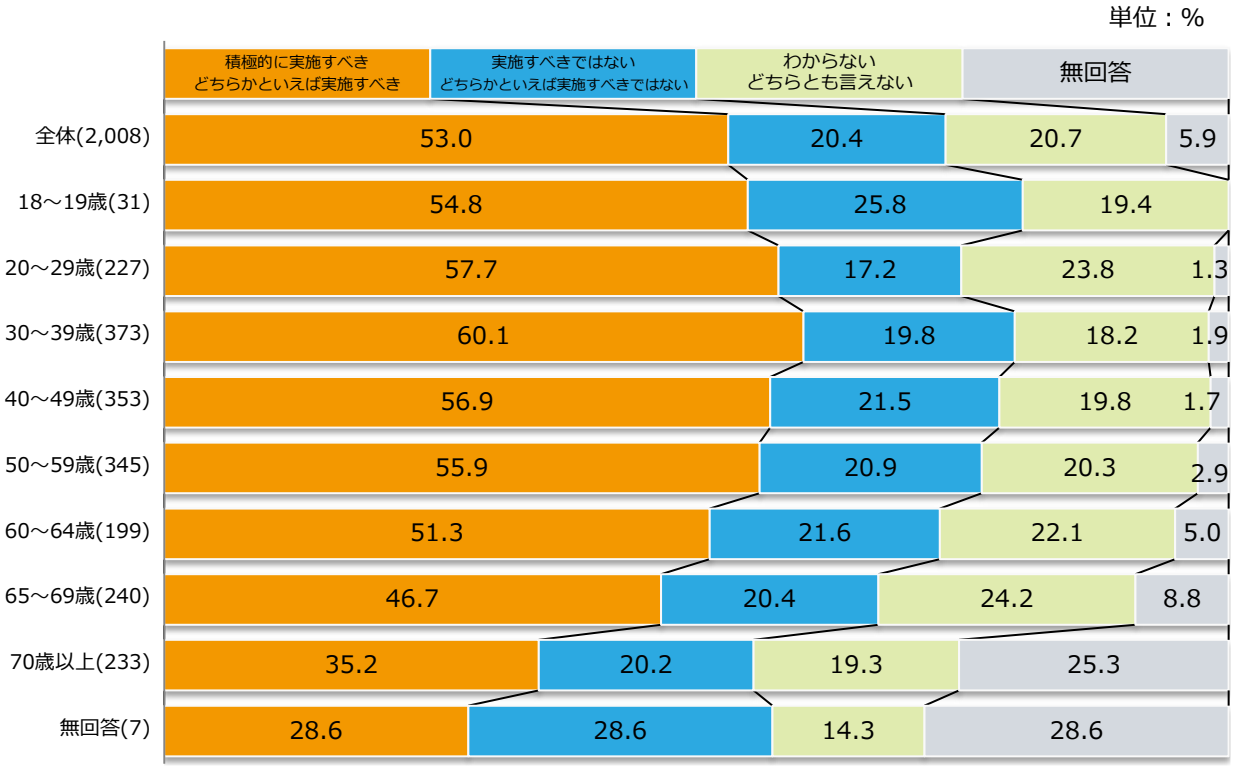
図表 2.7.10　「民間に施設を譲渡することで機能を残す。」に対する意見構成比（年代別）

⑥民間の施設を借りる。

- 「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 53.0%と半数以上を占めています。一方で、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計は 20.4%、「わからない、どちらとも言えない」が 20.7%を占めています。
- 年代別にみると、すべての年代で「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計を上回っています。



図表 2.7.11　「民間の施設を借りる。」に対する意見構成比



図表 2.7.12　「民間の施設を借りる。」に対する意見構成比（年代別）